

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成21年7月30日(2009.7.30)

【公表番号】特表2009-523006(P2009-523006A)

【公表日】平成21年6月18日(2009.6.18)

【年通号数】公開・登録公報2009-024

【出願番号】特願2007-511679(P2007-511679)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 1 2 Q	1/68	(2006.01)
C 0 7 K	14/435	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 1 2 Q	1/68	A
C 0 7 K	14/435	
C 0 7 K	16/18	
A 6 1 P	9/10	1 0 3
A 6 1 K	45/00	

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月9日(2008.5.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

冠状動脈狭窄を発症する危険性の変化を有する個体を同定するのを補助するための方法であって、該方法が、該個体の核酸における配列番号10601、配列番号6445、配列番号12472、配列番号13416、配列番号7058、配列番号18386、配列番号6058、配列番号4624、配列番号12318、配列番号8641、配列番号13615および配列番号5153からなる群より選択されるヌクレオチド配列のいずれか一つにおいて一塩基多型(SNP)を検出する工程を含み、ここで、該SNPの存在が、該個体における冠状動脈狭窄の危険性の変化と関連する、方法。

【請求項2】

前記危険性の変化が、危険性の上昇である、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記危険性の変化が、危険性の減少である、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

請求項1に記載の方法であって：対立遺伝子特異的プローブハイブリダイゼーション、対立遺伝子特異的プライマー伸長、対立遺伝子特異的增幅、配列決定、5'ヌクレアーゼ消化、分子ビーコンアッセイ、オリゴヌクレオチドライゲーションアッセイ、サイズ分析、および一本鎖立体配座多型からなる群より選択されるプロセスにより検出が実施される、方法。

【請求項5】

少なくとも 8 個の連続したヌクレオチドを含む単離された核酸分子であって、ここで、該ヌクレオチドの一つが、配列番号 10601、配列番号 6445、配列番号 12472、配列番号 13416、配列番号 7058、配列番号 18386、配列番号 6058、配列番号 4624、配列番号 12318、配列番号 8641、配列番号 13615 および配列番号 5153 からなる群より選択されるヌクレオチド配列、またはその相補体のいずれか一つより選択される一塩基多型 (S N P) である、核酸分子。

【請求項 6】

配列番号 170 ~ 338 のアミノ酸配列のいずれか一つをコードする、単離された核酸分子。

【請求項 7】

配列番号 170 ~ 338 からなる群より選択されるアミノ酸配列を含む、単離されたポリペプチド。

【請求項 8】

請求項 7 に記載のポリペプチド、もしくはその抗原結合フラグメントに特異的に結合する、抗体。

【請求項 9】

増幅されたポリヌクレオチドであって、該増幅されたポリヌクレオチドが、配列番号 10601、配列番号 6445、配列番号 12472、配列番号 13416、配列番号 7058、配列番号 18386、配列番号 6058、配列番号 4624、配列番号 12318、配列番号 8641、配列番号 13615 および配列番号 5153 からなる群より選択されるヌクレオチド配列またはその相補体のいずれか一つより選択される一塩基多型 (S N P) を含み、ここで、該増幅されたポリヌクレオチドが、約 16 ヌクレオチドと約 1,000 ヌクレオチドとの間の長さである、ポリヌクレオチド。

【請求項 10】

配列番号 10601、配列番号 6445、配列番号 12472、配列番号 13416、配列番号 7058、配列番号 18386、配列番号 6058、配列番号 4624、配列番号 12318、配列番号 8641、配列番号 13615 および配列番号 5153 からなる群より選択されるヌクレオチド配列のいずれか一つの一塩基多型 (S N P) を含む核酸分子に、特異的にハイブリダイズする、単離されたポリヌクレオチド。

【請求項 11】

対立遺伝子特異的プローブである、請求項 10 に記載のポリヌクレオチド。

【請求項 12】

対立遺伝子特異的プライマーである、請求項 10 に記載のポリヌクレオチド。

【請求項 13】

請求項 10 に記載のポリヌクレオチドであって、該ポリヌクレオチドが、表 5 に記載のプライマー配列からなる群より選択されるヌクレオチド配列を含む、ポリヌクレオチド。

【請求項 14】

核酸中の一塩基多型 (S N P) を検出するためのキットであって、該キットが、請求項 12 に記載のポリヌクレオチド、緩衝剤、および酵素を備える、キット。

【請求項 15】

冠状動脈狭窄を治療的もしくは予防的に処置するのに有用な薬剤を同定するのを補助するための方法であって、該方法が、候補薬剤に請求項 7 に記載のポリペプチドを、該ポリペプチドと該候補薬剤との間に結合複合体を形成させるために適切な条件下で接触させる工程、ならびに該結合複合体の形成を検出する工程を包含し、ここで、該複合体の存在が、該薬剤を同定する、方法。

【請求項 16】

心筋梗塞のような冠性心疾患 (C H D) を発症する危険性の変化を有する個体を同定するのを補助するための方法であって、該方法が、該個体の核酸における配列番号 10601、配列番号 6445、配列番号 12472、配列番号 13416、配列番号 7058、配列番号 18386、配列番号 6058、配列番号 4624、配列番号 12318、配列

番号 8 6 4 1、配列番号 1 3 6 1 5 および配列番号 5 1 5 3 からなる群より選択される又クレオチド配列のいずれか一つにおいて一塩基多型（S N P）を検出する工程を包含し、ここで、該 S N P の存在が、該個体における M I のような C H D の危険性の変化と関連する、方法。

【請求項 1 7】

冠状動脈狭窄の処置のために患者集団を階層化するのを補助するための方法であって、該集団が、該集団由来の個体の核酸における、配列番号 1 0 6 0 1、配列番号 6 4 4 5、配列番号 1 2 4 7 2、配列番号 1 3 4 1 6、配列番号 7 0 5 8、配列番号 1 8 3 8 6、配列番号 6 0 5 8、配列番号 4 6 2 4、配列番号 1 2 3 1 8、配列番号 8 6 4 1、配列番号 1 3 6 1 5 および配列番号 5 1 5 3 からなる群より選択される又クレオチド配列のいずれか一つにおける一塩基多型（S N P）の存在に起因して、冠状動脈狭窄を発症する危険性の変化を有し、該方法が、該 S N P を検出する工程を包含し、ここで、該 S N P の存在が、該個体における冠状動脈狭窄の危険性の変化と関連し、それにより該個体が冠状動脈狭窄のための処置を受容すべきことを示す、方法。

【請求項 1 8】

前記処置が、スタチン処置である、請求項 1\_7 に記載の方法。